

下諏訪で次々に



事業対象地域 長野県下諏訪町・御田町商店街

受託機関 特定非営利活動法人匠の町しもすわあきないプロジェクト

1

事業内容

実施目的

商店街を単に商売の場としてだけでなく、広義な職種での起業の場として捉えた。将来にわたって継続的に多くの起業希望者が訪れ、起業の手助けをするような、次世代の担い手づくりの場としての商店街活性化をめざし、継続的なプログラム化を実施した。

実施期間

平成 22 年 8 月 12 日 ▶ 平成 23 年 2 月 21 日

スケジュール	2010年				2011年			
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
セミナー		第1回・第2回セミナー実施●			第3回セミナー実施●			
広報活動	ブログ発信●							
創業実践プログラム		●古川創業運営員工房起業			山本創業運営員工房起業●			

実施内容

対象地域の状況の把握

製糸業・精密機械工業の集積地として発展してきた下諏訪町。しかし、主要企業の工場が移転し、町内の労働人口の減少とともに商業店舗数は現在約 300 軒と半分以下に縮小した。御田町商店街はその半数近くが空き店舗や空き地、住居になり、商店街の活性化が大きな課題となっていた。

事業計画と事業内容の提案、目標の設定

- ・セミナープログラム事業
将来的に起業を考える人材を主な対象に実施。動画配信も行った
- ・創業実践プログラム事業
開業、起業する人材を対象に、試験的開設などを実施
- ・広報活動実践プログラム事業

こうした事業を行うために、以下の3者で実施体制を組んだ。

実施体制

団体名	役割・得意分野など
下諏訪商工会議所 創業支援センター	空き店舗対策と開業希望者支援についての情報共有、受け入れの環境づくり
御田町商店街のみたまち おかみさん会	開業時の古民家再生についての懸念事項、設備投資の目安、家賃設定などのサポート
NPO 法人匠の町 しもすわあきないプロジェクト	運営、観光客のニーズやまちの魅力発信についての情報共有、イベント告知とPR

2

育成計画実施における状況

御田町商店街での創業実践プログラム事業から「創業運営員」1名が工房を開始。その後、ブログ発信を2名の運営員が開始した。セミナープログラム事業には3回合計で74名が参加。平成23年2月には、ブログ発信を始めたもう1名の運営員も工房を始めた。

事業計画と事業内容の提案、 目標の設定

3つの事業セミナープログラム、創業実践プログラム、広報活動実践プログラムを順次行った。

セミナープログラム事業

起業を希望する人材に事業の周知を行い、セミナーを通じて起業者が多くの人たちに経験やノウハウを語り、ディスカッションすることで、多くの新規起業を志す人材づくりの一助になれば、と実施した。

各セッションは「創業希望者セミナープログラム」http://orbiter.jp/takumi_ss/ で動画配信を行い、来場できなくてもパソコンでの聴講を可能にした。

創業実践プログラム事業

広報活動実践プログラム事業と合わせ実施した。具体的に開業・起業を進める人材を「創業運営員」として事業期間のみ雇用。運営員は空き店舗・空き施設にて工房及び展示スペース（ギャラリー）の試験的開設を行った（2軒開設）。

運営員選出と活動内容

- ・ 創業者募集活動（地域内連携の中での紹介等）を中心に行い、NPO 匠の町しもすわあきないプロジェクト、みたまちおかみさん会幹部メンバーの面接により決定
- ・ ここでなければ買えない物を意識した商品開発・販売を行った
- ・ 事業期間中、店舗で製品開発、展示を実施して製品の顧客評価を体感し、本格的な開業ができるかどうかを実践
- ・ 秋に行われる商店街イベントに参加し、出店形式でのギャラリーを開設

- ・ 設備、工房で使用する専用ツールなどは運営員の持参
- ・ 来客を見込み、周辺の諏訪大社などの観光施設で、ちらし等の配布・設置で誘客。商店街店舗や工房への来客者も誘客
- ・ 下諏訪商工会議所開業支援センター経営指導員による創業相談を実施
- ・ 『御田町マルテ市場組合』から、開業経験者の開業のプロセスなど、経験談を通じて学ぶ機会を設け、指導を受けた

広報活動実践プログラム事業

「街なか創業塾」としてのブログを立ち上げ、日々の作業報告も兼ね、運営員自ら情報更新した。また、地元紙を中心に新聞紙上で随時、記事を掲載。取材交渉は運営員が対応した。

目標設定とサポート組織

「街なか創業塾」の事業修了後、運営員による本格起業（起業店舗として継続）と目標を設定し、試験開業した2軒を本格オープンへと導いた。

セミナー事業については継続し、次年度も本事業について立ち上げた組織を生かして開業者の促進、担い手づくりの仕組みを引き続き実施していく。

セッションを通じた人材育成

起業支援のNPO 法人スタッフ。飲食店、工房の起業「先輩」やアパレル、リサイクル、そして産業カウンセラー。各方面で活躍し、経験も豊かな多彩な講師、パネラーを招いて、下諏訪御田町ぷらっとスペースで実践的なセミナープログラムを行った。

事業計画と事業内容の提案、 目標の設定

第1回

11月19日午後7時～

セッション1：商店街での起業実例を交えた 下諏訪での実例講義

講師：NPO 匠の町しもすわあきないプロジェクト
専務理事 原 雅廣

セッション2：新規起業におけるリスク管理

講師：下諏訪商工会議所創業支援センター
課長 安田 弘



緊張した表情で聞き入る受講者の姿が印象的だった第1回のセミナー。



第2回

11月26日午後7時～

コーディネーター：山猫亭 社長 太田 伊智雄

セッション3：起業者の話を聞く～飲食業編

講師：菱友醸造 社長 近藤 昭等

セッション4：起業者の話を聞く～工房編

講師：皮工房 TAKAJIN 代表 中居孝仁

セッション5：跡取りの話を聞く～何故、 家業を継いだのか？

講師：メヌエット 代表 清野 賢一



その道に経験豊富な講師の話に受講者は引き込まれた。

第3回

1月14日午後7時～

コーディネーター：山猫亭 社長 太田 伊智雄

事例講演と公開議論（公開セッション）

パネラー：

リサイクルフロンティア株式会社 社長 浅野剛史
(静岡県呉服町商店街でセカンドハンドのアパレルを起業、年商1,000万円以上の店舗に育て上げた。)

株式会社ふるさとの森 代表取締役 池田立一
(食品廃棄物リサイクル事業に携わって10年以上、その経験を切り口にした商店街活性化の実践で有名。)

東京国際大学 国際関係学部 教授 八巻恵子
(キャセイ・パシフィック航空、ルフトハンザドイツ航空の客室乗務員を経てビジネスマナー講師、産業カウンセラーとしても活躍。)



セカンドハンド、リサイクル、ビジネスマナー…具体的な事例は起業に欠かせない視点を多く提供した。

3

目標に対する成果（定量・定性面を含む）

3回にわたって実施したセミナープログラム事業には計74名が参加した。また、創業運営員となった山本さん、古川さんの2名が本格的な開業を実現。開業に向けた継続的なフォローの重要性を知る結果となった。

セミナープログラム事業

第1回21名、第2回24名、第3回29名が参加。4名の新規開業希望者も訪れた。この結果をふまえて、開業に向けたフォローを継続的に実施していくことにした。

また、事業が新聞で報道されたことをきっかけに新たに2名の新規開業希望者が商店街を訪問。フォローを実施。

地域の一員として活動開始

山本さん、古川さんともに継続的、本格的に開業を果たす。地域のコミュニティや商店街、同業の工房主とも積極的なコミュニケーションを図り、地域の一員として活動を始めている。創業者希望者セミナーでは運営スタッフとして受付・アンケート、データまとめを担当。第3回ではパネラーとしても参加した。

木工スピーカー工房
「千万音（ちまね）」

山本創業運営員は、天然木を使って作る本格的な木工スピーカー工房として、製作工房とリスニングルームを併設したショップを手作りで立ち上げた。また、近隣の自治会へも加入し、地域活動へも積極的に参加を始めている。ブログによる活動情報の配信も効果も期待できる。
<http://chimane.no-blog.jp/>



天然木を使ったスピーカーは、木のぬくもりをそのデザインや音を通じて伝える逸品。



家具・器・小物・アクセサリ製作
Golondrina(ゴロンドリーナ)

スペイン語で『ツバメ』という意味の店名は、古川運営員のエピソードが元になった。家具・器・小物・アクセサリなどを製作。木のボタン・ビーズ・つまみ・バック用持ち手などのパーツ類は『木のパーツ屋 tubame』でも販売。異素材の組み合わせ製品、家具やパーツのオーダーなども対応している。



ツバメは幸福を運ぶ鳥でもある。自ら手がける製品も、多くの人に幸福を運ぶものになれば…その想いが込められている。



<http://www.spice-do.jp/golondrina/>

4

支援協力機関が事業に果たした役割

新しい店主＝ものづくりを中心とした起業希望者を受け入れ、新たな店主の創業を導くことができた。創業希望者を日常的に見守り、サポートするという役目の大切さを改めて感じた。そして、新たな創業希望者を育てていく期待、自信もふくらんだ。

対象地域、商店街へのヒアリング

事業に対する意見・要望

御田町商店街では、NPO 法人匠の町しもすわあきないプロジェクト、下諏訪商工会議所と連携し、ものづくりを中心に起業希望者＝新たな店主として受け入れてきた。今回の事業でも、新たな店主が創業するまで導くことができた。今後も事業を継続して、事業の結果を、全国の商店街が抱える問題解決の一助として生かせられるといい。

支援協力機関・育成メニューに対する評価

商店街での創業について改めて考えさせられ、また、関係者の継続的な企画・努力には私ども商業者では思いつかないアイデアを投入され、大変感謝している。受け皿として、創業希望者を日常的に見守りサポートする役目を担っていくことの大切さを改めて感じた。



今回の事業展開では「しもすわふらっとBマップ」が果たした役割も大きかった。

育成対象者の今後の活動への要望

創業運営員として活動された山本さん、古川さんは私たちの日頃の活動に、また、地域の自治会などへも積極的に参加され、大変うれしく思っている。山本さんには商店街や地域のリーダー的な役割を担っていただく素養を感じ、期待している。店主のほとんどは跡取りがないが、他から起業希望者を受け入れることで既存事業者も大いに発奮し、気持ちの上でも元気になることを実感した。山本さん、古川さんが今度は、また新たな創業希望者を育てていくよう期待している。

(みたまちおかみさん会事務局長 河西美智子)

まとめ

創業運営員として参加された山本さん、古川さんは、自分の製品に対する自信があつての開業希望であつたと思う。開業までのプロセスを通じて自分を取り巻く地域や仲間、支援機関等の大切さを感じ、支えられていることを実感できたことが重要だった。また、この事業の評判を知り、現在も何人も新たな起業希望者が御田町商店街を訪れている。

このプログラムで培った経験を多くの人々の間で共有し、地域内で起業者を継続的に受け入れるための標準化が望まれる。

5

地域、商店街が活性化に向けて果たした役割・活動の報告

日本のどのまちにも昔からあった、気さくな近所づきあいの雰囲気です。創業運営員を迎え入れたのが最大の貢献。起業活動へ没頭できる環境を生んだ。



地域にとけこんだ創業運営員

山本さんは東京都三宅島、古川さんは富山県の出身。地域に対する知識や人脈は極めて希薄な状況で今回の事業へ参加した。しかし、商店街のおかみさん達を中心に、彼らの日常の世話役として積極的にサポートし、古き良き時代のご近所付き合いという感じで、暖かく彼らを受け入れ応援した。二人は地域差をそれほど感じることなく、スムーズに地域へ入り込み、起業活動に没頭することがで

きた。

また、本格的な創業に向けて新規設備投資などを検討するにあたり、下諏訪商工会議所にもアドバイザーとして積極的に指導をいただいた。



NPO法人匠の町しもすわあきないプロジェクト事務所

6

新たな課題とその対策について

今回取り組んだ内容と同じセミナーを年次で計画し、「先輩創業者」が引き続きこの事業に関わりを持つ場づくり、などが課題になる。



課題

セミナー事業は、既に地域内で創業した同世代を中心としたメンバーを選抜して話を聞いたが、創業希望者だけでなくその周辺で活動する関係者にとっても、地方で創業するための大事なところ、課題など様々な側面から創業について改めて考える機会を継続してつくりたい。



対策

セミナー聴講は、既存商業者や行政・商工関係者にとっても自分たちの活動を反省する良い機会となった。今後も同様のセミナーを年次で計画し、創業員も継続的に参加して自らの経験や現状を発信するような場として活用することで、地域の起業に対する取り組みの底上げにつなげたい。

連携および
参加機関
(順不同)

下諏訪商工会議所
諏訪商工会議所
東京工業大学教授、和歌山大学教授